

第1回検討委員会摘録
第1回京都会館再整備検討委員会

日 時 平成17年7月13日(水)午前10時～正午

場 所 京都会館 第1会議室

出席者(五十音順,敬称略)

今西勝	株式会社ナウエストワン代表取締役社長
齊藤武夫	財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
鈴置雄三	株式会社サウンドクリエイター代表取締役社長
田中宏美	市民公募委員
田坪良次	大阪人間科学大学教授,京都市立芸術大学名誉教授
段塚崇子	市民公募委員
中原昭哉	元京都女子大学教授
ばんばひろふみ	歌手
細井康雄	社団法人京都音楽文化協会理事長
松隈洋	京都工芸繊維大学助教授
青柳敏雄	京都市都市計画局公共建築部長
水口重忠	京都市文化市民局文化部長

配布資料

- ・ 次第
- ・ 京都会館再整備検討委員会委員名簿,京都会館再整備検討委員会設置要綱
- ・ 資料 京都会館の現状及び問題点

議 事

- 1 開会,文化市民局長挨拶
- 2 事務局から検討委員会の位置づけ説明
多くの市民に愛される施設にしていくために,様々な観点から皆様の御意見をいただき,市として再整備の方針を決定してまいりたいと考えている。
- 3 正副会長決定
委員の互選により,中原委員を会長に,田坪委員を副会長に選出した。
- 4 京都会館の現状について事務局から報告

5 現状について委員意見交換

- ・ 第1ホールは舞台の奥行きが狭い。
- ・ 京都は京都会館の施設的な問題と京都としてのマーケットの問題の2点から神戸や大津のびわこホールで開催することが多い。再整備を契機に施設の改善を図ってほしい。
- ・ 建替えも含めて考えていくべきである。
- ・ 近年、文化遺産としてのモダニズム建築として、京都会館の建物が見直されている。是非後世へと大切に引き継いでいただきたい。
- ・ 施設に問題があれば、アーティストは自由な表現活動ができない。そのため京都会館を敬遠するようになる。素晴らしい施設があれば、いろいろなアーティストが集まってくる。京都会館が新しくなれば、文化都市として施設も充実してくる。建替えも含めて議論していく必要がある。
- ・ 利用する立場として考えていきたい。トイレが長蛇の列ができるなど、不便は感じていた。
- ・ 京都会館の案内係のチーフとして働いている。また劇団員としても利用している。仕事柄、主催者の意見を聞くことも多いので、こうした観点からも意見を言っていきたい。

6 施設見学

委員全員で京都会館の見学を行った。